

令和8年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
大山田地域部会 議事概要

■開催日時 令和8年6月30日（火）
午後1時30分～3時30分

■開催場所 大山田福祉センター ふれあい広場

■出席者 （敬称略）

【部会員】

橋本	隆	阿波地域住民自治協議会	会長
中川	博昭	布引地域住民自治協議会	会長
東	涼一	山田地域住民自治協議会	会長
水岡	桂也	阿波地区区長会	会長
中矢	幸治	布引地区区長部会	部会長
稲森	稔見	山田地区区長会	会長
番條	まり子	大山田地区民生委員児童委員協議会	会長
末廣	紀子	伊賀市社会福祉協議会地域支援課 地域福祉コーディネーター	
中尾	彰克	伊賀市商工会大山田支所	支部長

【事務局】

公共交通課 森地課長、中川係長、岡本
大山田支所 本城支所長

■傍聴人：1人

■会議概要

1. 開会

2. 部会長、副部会長の委員の互選について

部会長 阿波地域住民自治協議会 橋本様に決定
副部会長 阿波地区区長会 水岡様に決定

3. 協議事項

（1）伊賀市地域公共交通計画中間案について

事務局から資料1－1 資料1－2 資料1－3 に基づき、説明。

【質疑応答】

部会員	小中学生や高校生を対象とした、モビリティ・マネジメントについて、教えてほしい。
事務局	資料１－２の70ページに用語解説を載せています。モビリティ・マネジメントとは、上手に公共交通を使ってもらうための取り組みです。ここでは、「渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、」と書いています。さらに言えば、昨今、自動車に頼る状態の公共交通をより賢く使っていただく方向性を考えることで、自発的に公共交通を使ってもらうように促すような取り組みのことです。 例えば小学校にお伺いし、乗り方教室をしたり、公共交通はこんなに便利なものですよといったことを説明したりというような取り組みがモビリティ・マネジメントと言います。
事務局	使い方だけではなく、公共交通をただの移動手段ではなく、街のインフラとしての基盤であること、また公共交通を使う人は、車で行くよりも歩く距離が長くなり、健康に良いですし、特に環境面では、それぞれのマイカー面よりも配慮できるといった公共交通ならではのメリットがあります。そういった事を皆さんに知っていただいて、自発的に公共交通を使ってもらえるようにしたいと考えています。
部会員	ありがとうございました。
部会員	今回は何年間の計画ですか。
事務局	10年間です。
部会員	中間で見直されたということは、毎年見直をして、中間案で大きく見直すのですか。
事務局	令和９年度から19年度までの10年間の計画ですが、20個の施策については、毎年進捗管理を行う予定です。目標指標については、５年後の令和14年度に見直す予定をしています。
部会員	67ページにPDCAサイクルが書かれており、PDCAを毎年繰り返して、半期ごとにチェックすることで、良い方向へもっていくことが必要であり、これを10年間でするのは大変だと思いますが、みんなにどういう状況かを分かるように市民の皆さんに示していただきたいと思います。この計画は、どのぐらいかけて作ったのですか。
事務局	アンケート調査や課題を調整するのに時間がかかっています。令和７年度にとりかかり、１年３ヶ月はかかっています。
部会員	市のある部署だけではなく、他を巻き込んで計画を作り上げた

	た方が良いと思います。社協さんも、前回公共交通のアンケートをしていただいた方が良いと思います。
事務局	はい。骨格は公共交通課で作り、庁内の関係部署に見ていただいていたきました。また、社協へヒアリングに行かしていただくなかで、まとめていきました。
部会員	20項目の施策の具体的な行動計画がありますよね。それはこの計画に書かれているのでしょうか。
事務局	詳細に設定できていないものもあります。
部会員	すごく良くできていますが、いざ具体的に施策を実行しようとすると、予算が必要です。伊賀市や伊賀鉄道、三交が行うにしても、先立つものがなければ行動はできません。また、公共交通の一番のポイントは、こどもと老人です。こどもは減る、老人のニーズは増える。そのため、ターゲットをどのように考えていくかが非常に大事だと思います。
部会員	9ページに人口推移が載っていて、これを読み間違えるとターゲットが変わってくるような気がします。
部会員	一番肝心なことは、生活難民をつくらないことではないですか。そのためにターゲットをある程度絞って、予算を集中しないと。これだけ人口が少なくなるなかで、給付していても伊賀市の予算自体も減ってくるわけです。
部会員	資金と人を一番有効なところで集中的に使う必要があり、生活難民をつくらない事は一番重要です。
部会員	バスしかないようなところは、同じ伊賀市のなかでも環境が全然違うと思います。
事務局	正直、どこの地区でも大丈夫というのはないです。地域それぞれで規模も違います。
部会員	伊賀市では若者が流出し、3割程度戻ってくるというのを聞きました。そうすると、人口はだんだん減ってきます。やはり若者の方が残るために学校も必要ですし、企業も必要です。そして、地域で働きやすい、住みやすい地域づくりをしてから、交通を考えるのであれば分かりますが、現状のままではマイナスばかりに要因があるわけです。
事務局	鉄道も維持する必要がありますし、伊賀市に住みながら大学に通うためには、路線も維持していく必要があります。駅から家までの移動手段も残していけないといけません。この交通計画は、伊賀市全体の人口減少を緩やかにするための計画のうちの1つというような位置付けです。交通のことと言うと、実際住んでいる方の移動もありますが、そこから観光のお客さんに

	できるだけ来ていただいて、なるべく増えていけるようにという視点も盛り込んでいます。しかし、10年間の総合的な計画なので、細かいところまでは書いていない状況です。
部会員	あくまでも交通の事だけを書いている計画になるのですか。
事務局	基本的に交通の事について、市全体が活性化していけるように書いているものになります。
部会員	交通単体で考えるのはどうでしょうか。大きな企業が来たら、交通体系も変わりますよね。
事務局	企業に来ていただくためには、交通が整ってないと来てもらえないというのもあります。どちらが先か分かりませんが。
部会員	それは企業が先に決まっています。若者が残って企業が来て、それによって人口が増えたら交通体系がものすごく変わると思います。企業はスピード重視ですから、工場の敷地が整備されれば、来ますよね。そして、いずれは企業が従業員を増やしてくれるかもしれません。
部会員	名阪が出来て、高速バスも減ってきています。京都にも以前は行けましたが、もう今は東しか行けません。さらに、その本数も減ってきている状況で、それでは、地域として発展しないですし、若者も残りません。若い子は、大阪へ行くわけです。そのような若者が残って、住めるような生活環境を整えないといけません。
部会員	リニアの情報はあるのでしょうか。関西線と草津線は乗り入れについても聞いたことがありますか。
事務局	リニアについてはここ2年間新しい情報がありません。駅の候補地が亀山と決まっていますが、まだ確定していません。関西線と草津線の乗り入れについても具体的には決まっています。
部会員	関西線はJR東海ですか。
事務局	亀山までJR西日本です。
部会員	草津線は。
事務局	JR西日本です。ただ支社が分かれていますので、連動も難しいです。鉄道のダイヤを決めるのもかなり難しいとも聞きます。
部会員	先程、資料1－2の説明のなかで、島ヶ原のしまタクの話が出ました。詳しく教えてください。
事務局	はい。特徴として、定時定路線で決まったルートではなく、予約制にしました。令和5年の当時は、島ヶ原内のごみ集積所や公民館を乗降ポイントにして、そこまで出てきてもらい、移動していましたが、この4月からドア・ツー・ドアで、島ヶ原地域まちづくり協議会が運行してくれており、今、タントの軽自

	動車で島ヶ原内であればどこでも行くことができます。1回200円で電話をすれば、まちづくり協議会に繋がり、乗せてもらえます。愛称「しまタク」として運行しています。
部会員	どこへ行くのが最もニーズは高いのですか。
事務局	竹沢医院や島ヶ原駅、農協が多いです。また、島ヶ原の団地から島ヶ原駅まで行き、駅からJR乗って働きに行っている方もいます。毎日2人は、乗っていただいています。昼間は電話がありましたら、家まで迎えに行って病院まで送り、病院が終わったら、また電話して病院まで迎えに来てくれて、家まで送ってくれます。
部会員	福祉タクシーのようなものですか。
事務局	福祉以外の買い物にも行きますし、違う用事も行けます。
部会員	島ヶ原地域の外は、どうなるのでしょうか。
事務局	島ヶ原駅から上野までシャトルバスを運行しています。島ヶ原駅から小田のマックスバリュ、しもむら整形外科、コメリ、上野市駅に火曜日と金曜日に停車します。
部会員	200円もらって実際にいくらかかっているのでしょうか。
事務局	1人あたりの市負担額は4,900円です。
部会員	大山田はどうですか。
事務局	収支率というのがあり、大山田は4.6%ですので約95%は赤字になります。
部会員	島ヶ原はどうですか。
事務局	島ヶ原については、2分の1は補助金をもらっていますので、約50%となっています。
部会員	予約は前日までですか。
事務局	基本前日までです。当日は空いていれば使えます。タクシー形式ですので、決まった時刻はありません。
部会員	車は1台ですか。
事務局	タント1台と、シャトル用にハイエース10人乗り1台です。
部会員	運転手の人数は何人ですか。
事務局	5人おり、電話受付が2人います。
部会員	まちづくり協議会が運行管理者になっているのですか。
事務局	はい。運行管理者は島ヶ原まちづくり協議会の会長です。
部会員	免許は2種免許が必要ですか。
事務局	2種免許は必要ありません。1日講習を受けていただくだけで、免許がもらえます。あくまでも行政バスですので、行政がまちづくり協議会に運行委託を行い、まちづくり協議会で運営を行っています。島ヶ原には交通事業者がいませんでしたの

	で、そういったことがやりやすかったというの也有ります。
部会員	三重交通のバスも走っていますか。
事務局	縮小しました。今はやぶっちゃまでしか行っていません。 元々、市が三重交通に委託し、運営している廃止代替バスになります。

(2) 行政バス「リ・デザイン」幸せな暮らしプロジェクトについて
事務局から資料2-1 資料2-2 資料2-3 に基づき、説明。

部会員	学校への案内はするのですか。
事務局	小学校、中学校へ案内する予定です。福祉ネットワーク会議では、交通について議論されてみえると思いますので、そういったものも活かしていきたいと思います。また、高齢の方でも参加してほしいと考えています。昨日ハイトピアで聞き取りをしましたが、96歳、88歳の方が1人でバスを乗り継いで来てくれました。自分でダイヤを調べて1人で外出し、歩いて来るので、頭を使うと言っていました。実際のところ、今は車でどこでも行けますけれども、乗れなくなったときに、公共交通にしようとするのが難しいので。なるべくシフトしてもらいやすいような仕組みづくりが大事と考えています。
部会員	朝早く行動するのは良いと思いますが、乗り換えをしないといけないのが不便ですね。バス停までいくのも不便ですし。
事務局	今までの公共交通は、自分でバス停や駅まで行って自分でできるというのが前提でした。乗り換えが全くないというのも難しいです。
部会員	いがまちでしたら、佐那具のマックスバリュも行けますよね。
事務局	はい。
部会員	話が変わりますが、どんぐり号は北の方面は運行していましたか。
事務局	大沢線と虹ヶ丘線があり、運行を行っています。

4. その他

(1) 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会規約について
事務局から伊賀市地域公共交通活性化再生協議会規約に基づき、説明

【質疑応答】

部会員	会長が欠席の場合は、代理で出席して良いのでしょうか。
-----	----------------------------

事務局	マイナンバーもいただいていますので、どうしても出席が難しい場合は欠席になると思います。
部会員	どうしても出席が難しい場合は、欠席になりますよね。
部会員	布引は区長部会ですが、阿波と山田は区長会です。
事務局	承知しました。
部会員	老人クラブはないですね。
部会員	そうですね。削除で良いと思います。
部会員	障がい者福祉連盟も削除で良いと思います。
部会員	中部圏域課はありませんので、地域支援課に修正をお願いします。
事務局	承知しました。

阿波地区区長部会長を阿波地区区長会会長に改める。

山田地区区長部会長を山田地区区長会会長に改める。

大山田老人クラブ連合会会長を削除する。

伊賀市障がい者福祉連盟大山田支部長を削除する。

伊賀市社会福祉協議会中部圏域課代表を伊賀市社会福祉協議会地域支援課代表に改める。

(2) RYDEPASSについて

事務局からRYDEPASSチラシに基づき、説明

【質疑応答】

部会員	普通の定期券は学生補助がありますよね。こRYDEPASSは補助の対象になるのでしょうか。
事務局	通学定期という形で販売しておりませんので、補助の対象にはなりません。

(終了)